公益社団法人 宮崎県看護協会

会報 Vol.143
令和3年7月31日発行

なでしこ宮崎

介護老人保健施設おびの里

こんにちは。介護老人保健施設おびの里です。

おびの里では、Cooperation（連携）・Communication（心の通い合い）・Challenging（やりがい）の「３つのC」を施設の基本テーマとし、利用者様へ質の高いサービスを提供させていただくことはもちろんのこと、働く職員が前向きに楽しく働けるよう、日頃から取り組んでおります。

また、県南地域唯一の在宅強化型老健として、利用者様が少しでも長く在宅生活を継続できますようPT・OT・STを多く配置し、通所リハビリテーションや訪問リハビリテーションを通して、継続的な支援を行っております。

地域包括ケアシステムにおける老健施設の役割は大きく、職員１人１人がその役割をしっかり理解し、これからも多職種共同で一丸となって、利用者様や地域の方々を支えてまいります。

CONTENTS

- 会長挨拶
- 宮崎県看護協会通常総会報告
- 受賞者紹介
- 令和3年度役員・委員紹介
- みやざきナースToday報告
- セカンドレベル修了
- 地区研修～延岡・西臼杵地区～報告
- 在宅支援室からのお知らせ
- 専門看護師・認定看護師からみなさまへ
- 寄附のご報告
- 新型コロナウイルス感染症関連
- ナースセンターだより（vol.64）
- 理事会報告
- Let's take a break

令和3年度会員数

（令和3年7月20日現在）

保健師	220名
助産師	247名
看護師	7,718名
准看護師	512名
合計	8,697名

令和3年度 宮崎県看護協会通常総会を終えて

新型コロナウイルス感染症への対応が長期化する中、地域のあらゆる場で日々ご尽力いただいている全ての看護職の皆さまに心より敬意を表します。

「令和3年度宮崎県看護協会通常総会」は6月19日に昨年同様規模を縮小し、Zoom配信を併用しての開催といたしましたが、議決事項を全てご承認いただき、無事終了することができました。ご協力に感謝申し上げます。

今年度も新型コロナウイルス感染症は収束の見通しがつかない状況にありますが、動向を注視し、看護職能団体として、事業を推進していく必要があります。

2025年は目前です。さらにその先の2040年を見据えた地域共生社会の実現に向けて、あらゆる場所で活動する看護職の資質向上と、安心して働き続けられる職場環境づくりに努めてまいります。

時代の変化とニーズに合った安全で質の高い看護の提供を目指し、創造的に行動し、地域社会に貢献するという基本はゆるがずに事業を進めてまいります。

令和3年度の事業は、昨年度の重点事業を踏襲し、継続的に進めていくとともに、自然災害への対応や新型コロナウイルス感染症と対峙した経験から明らかになった課題解決に向けて次の事業を重点的に活動してまいります。引き続きご支援ご協力をお願い申し上げます。

1　地域包括ケアシステムの推進
2　看護職の働き方改革の推進
3　看護職の役割拡大の推進と人材育成
4　災害時支援体制ネットワークの推進

公益社団法人 宮崎県看護協会
会長　中武 郁子

令和3年度 公益社団法人宮崎県看護協会通常総会報告

日　時　令和3年6月19日（土）　10時00～11時50分
会　場　宮崎県看護等研修センター　大研修室
出席者　本人出席　68名　委任状出席　7,154名　合計　7,222名

【提出議題】
第一号議案　令和３年度役員等選出
　　令和４年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選出
第二号議案　令和２年度決算報告（案）並びに監査報告

【報告事項】
報告事項１　令和２年度理事会報告
報告事項２　令和２年度事業報告
報告事項３　令和３年度重点事業並びに事業計画
報告事項４　令和３年度収支予算
　　※総会要綱は、宮崎県看護協会ホームページでご覧いただけます。

参加者全員で「Nursing Now」

昨年度に引き続き、規模を縮小しての開催となりましたが、円滑な運営のもと、令和3年度役員等選出や令和2年度決算報告等議決事項について、ご承認いただき、無事終了することができました。会員の皆様初め、関係の方々のご協力・ご支援に対し厚くお礼申し上げます。

令和３年度宮崎県看護協会の役員及び令和3年度日本看護協会代議員及び予備代議員は５～６ページのとおり選出されましたので、お知らせします。

今年度は宮崎県知事 河野俊嗣様からはビデオメッセージを、宮崎県議会議長 中野 一則様、宮崎市長 戸敷 正様からはご祝辞をいただきました。メッセージは、8月25日（水）まで宮崎県看護協会ホームページに掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

また、希望する施設へはZoomで総会の様子を配信しました。約25施設が視聴してくださり、総会後のアンケートでは、来年度以降も配信を希望するという回答をいただきました。

開会のあいさつをする
中武会長

議長団

職員が機材を活用して
Zoom配信を行いました。

退任される役員の皆さまへの花束贈呈

スタッフと選挙管理委員は
Nursing Now Tシャツを着用

令和３年度宮崎県看護協会役員

①会　　長	中武　郁子	⑪職能理事	田中　優子
②副 会 長	日髙美加子	⑫職能理事	髙妻　真子
③副 会 長	久保　敦子	⑬職能理事	新名麻理子
④常務理事	橋満　升子	⑭地区理事	水永　豊子
⑤常務理事	江川千鶴子	⑮職能理事	﨑村真由美
⑥地区理事	関原　昭吾	⑯地区理事	武田　愛
⑦地区理事	藤本　雪美	⑰地区理事	福山　洋子
⑧監　　事	蛯原　幸子	⑱職能理事	岩村　優子
⑨監　　事	黒木千賀子	⑲監　　事	三浦　洋司
⑩地区理事	清水小百合	⑳地区理事	山下　千夏

受賞おめでとうございます

日本看護協会会長表彰

野口　初代様
はまぼう訪問看護ステーション

2021年度日本看護協会会長表彰受賞の栄に浴し、誠に有難く心から感謝申し上げます。

また、宮崎県看護協会中武会長をはじめ職員の皆様方には、すべての場所で働く看護職に必要な専門研修の企画・運営等、日頃は大変お世話様になり、ありがとうございます。

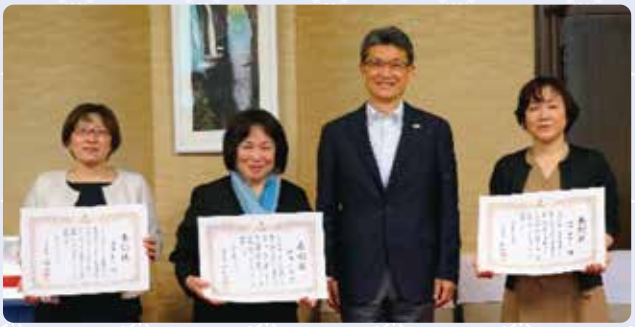
私は、9年前の5月に開設しました「はまぼう訪問看護ステーション」で現在も日々訪問看護に出かけています。とは申しましても、1日の訪問件数はスタッフの計らいで、調整してあります。

理由は、1）スタッフ一人一人がしっかり成長してきたとの実感があること　2）私の手と目「看」と「頭」が年齢相応に変化していること　等です。（笑）

しかしながら、これからも若いスタッフとともに、現場にこだわり、現場を愛して、生涯現役であり続けたいと思っています。

「看護の日」記念宮崎県知事表彰

令和３年６月８日（火）、看護を通して保健・医療・福祉の推薦に貢献された方に対して、河野知事より賞状と記念品が贈呈されました。



坂本　郁代様
こどもとおとなの訪問看護
ろけっと★ステーション

後迫　和子様
九州保健福祉大学
総合医療専門学校

山中 ゆかり様
愛泉会日南病院

宮崎県看護協会長表彰

山口　裕子様
宮崎県立看護大学

髙橋 久美子様
個人会員

杉尾　重子様
高鍋保健所

工藤　裕子様
延岡保健所

山口　康子様
日南市立中部病院

興梠　貴子様
延岡看護専門学校

田中 紀美代様
内村病院

椎葉　邦子様
椎葉村総合保健センター

新原　幸子様
野崎東病院

三輪 真砂子様
宮崎大学医学部附属病院

※所属施設は、推薦時（令和3年3月末日）のものです。

令和3年度 公益社団法人宮崎県看護協会　役員・委員のご紹介

☆新役員（再任を含む）　★任期途中で辞任した役員・委員の後任　○委員長

役員・職能委員

役員・委員会名		氏　名	施設・事業所名
会長		☆ 中武　郁子	宮崎県看護協会
副会長		☆ 日髙美加子	個人会員
副会長		☆ 久保　敦子	宮崎大学医学部附属病院
常務理事		☆ 江川千鶴子	宮崎県看護協会
常務理事		☆ 橋満　升子	宮崎県看護協会
職能理事	保健師	☆ 髙妻　真子	宮崎県中央保健所
	助産師	☆ 田中　優子	古賀総合病院
	看護師 I	☆ 新名麻理子	宮崎市郡医師会病院
	看護師 II	☆ 岩村　優子	訪問看護ステーション湯癒亭
地区理事	延岡・西臼杵地区	☆ 福山　洋子	宮崎県立延岡病院
	日向・東臼杵地区	☆ 水永　豊子	千代田病院
	西都・児湯地区	☆ 関原　昭吾	鶴田病院
	宮崎・東諸県地区	☆ 山下　千夏	南部病院
	都城・北諸県地区	☆ 藤本　雪美	藤元総合病院
	小林・えびの・西諸県地区	☆ 武田　愛	小林市立病院
	日南・串間地区	☆ 清水小百合	串間市民病院
准看護師理事		☆ 﨑村真由美	潤和会記念病院
監事		☆ 蛯原　幸子	個人会員
		☆ 黒木千賀子	個人会員
		☆ 三浦　洋司	三浦会計事務所
保健師職能委員会		安藤　優子	都農町役場
		★ 池田　浩子	宮崎市役所
		岩﨑　恵子	宮崎健康づくり協会
		☆ 横山　千穂	国富町役場
		後藤　由佳	宮崎県都城保健所
助産師職能委員会		池田　知佳	宮崎県立延岡病院
		☆ 兒玉　朋希	宮崎市郡医師会病院
		井上　智美	宮崎大学医学部附属病院
		山口由紀子	宮崎県立宮崎病院
		☆ 黒木　洋子	小林市立病院
看護師職能委員会 I		小林　利佳	宮崎県立延岡病院
		☆ 野邨つぐみ	西都児湯医療センター
		★ 岡本　洋子	国立病院機構宮崎東病院
		原田　明美	古賀総合病院
		☆ 鞍掛加代子	平和台病院
		☆ 日高　悦子	おび中央病院
		☆ 合原久美子	野尻中央病院
		准 横田　園美	海老原総合病院
看護師職能委員会 II		☆ 黒木　正樹	介護老人保健施設螢邑苑
		酒井やつ子	特別養護老人ホーム牧水園
		☆ 小森　順子	介護老人保健施設並木の里
		那須　直美	訪問看護ステーションなんぶ
		安楽　泉	訪問看護ステーション優癒
		☆ 馬越脇直子	池井病院訪問看護ステーションひとみ
		☆ 瀬戸口麻美	訪問看護ステーションひなこ

常任委員会

委員会名	氏　名	施設・事業所名
推薦委員会	☆○川野由美子	金丸脳神経外科病院
	☆ 富山　由美	和田病院
	☆ 清水　恵子	西都児湯医療センター
	☆ 山村　由枝	竹内病院
	☆ 古川　裕恵	国民健康保険高原病院
	☆ 長谷川久美子	宮崎県日南保健所
教育委員会	○ 嶋元　和子	宮崎大学医学部附属病院
	白瀧　岳志	国見ヶ丘病院
	吉野　鈴子	西都病院
	☆ 木田早菜枝 (～5/31)	黒木病院
	★ 富士本　香 (6/1～)	黒木病院
	甲斐　祐子	南部病院
	大西　智子	宮崎江南病院
	☆ 鈴木　貴子	潤和会記念病院
	☆ 川越　博美	古賀総合病院
	☆ 平原　久美	宮崎看護専門学校
	☆ 壹岐　絹子	野尻中央病院
	★ 永井　幸恵	介護老人保健施設おびの里
	☆ 高橋　康太	愛泉会日南病院
働き続けられる職場環境づくり推進委員会	☆○小牟田佐知子	宮崎生協病院
	☆ 米田真由美	米田脳神経外科
	☆ 谷口由美子	国立病院機構宮崎病院
	☆ 今村　裕子	えびの市立病院
	☆ 川瀬真由美	日南市立中部病院
	☆ 東原美由紀	宮崎善仁会病院
	☆ 山田　正子	宮崎県福祉保健部医療薬務課
	★ 小城　一代	宮崎県看護協会ナースセンター
広報出版委員会	○ 柳田　大貴	井上病院
	有近　俊宏	延岡リハビリテーション病院
	矢野喜代美	済生会日向病院
	☆ 日高まどか	鶴田病院
	☆ 柴立　佑二	宮崎医療センター病院
	☆ 梅原　広幸	潤和会記念病院
	☆ 田上　亜澄	宮崎善仁会病院
	仁田　一貴	藤元病院
	野中　香織	野尻中央病院
	☆ 宮田　由美	串間市民病院

特別委員会　○委員長

委員会名	氏　名	施設・事業所名
看護制度委員会	○ 山口　裕子	宮崎県立看護大学
	門田　広美	延岡看護専門学校
	鴇　香織	宮崎県福祉保健部医療薬務課
	中川　美紀	宮崎県立宮崎病院
	永野　秀子	宮崎県福祉保健部健康増進課
	中武　郁子	宮崎県看護協会
医療安全推進委員会	○ 黒田　伸一	宮崎・東諸県地区（宮崎医療センター病院）
	細元みどり	延岡・西臼杵地区（伸和会延岡共立病院）
	永柳　充恵	日向・東臼杵地区（千代田病院）
	岩本ひろみ	西都・児湯地区（西都病院）
	矢野修二郎	宮崎・東諸県地区（古賀総合病院）
	外山　祥子	宮崎・東諸県地区（宮崎県立宮崎病院）
	落合　京子	宮崎・東諸県地区（潤和会記念病院）
	北野　喜恵	都城・北諸県地区（国立病院機構都城医療センター）
	竹之下直人	小林・えびの・西諸県地区（小林市立病院）
	藤原真由美	日南・串間地区（谷口病院）
認定看護管理者教育運営委員会	○ 比恵島知子	古賀総合病院
	栗原　保子	宮崎県立看護大学
	東　美代子	宮崎県病院局経営管理課
	松田　聖美	済生会日向病院
	福満　美和	宮崎大学医学部附属病院
	井上由紀子	野尻中央病院
	井上　光子	国立病院機構都城医療センター
	向井ふさ子	宮崎県看護協会
	中島由紀子	宮崎県看護協会
学会委員会	○ 戸髙　薫	宮崎市郡医師会病院
	井手　香	宮崎県福祉保健部健康増進課
	宇和田由美子	宮崎県立宮崎病院
	松本　憲子	宮崎県立看護大学
	川﨑由美子	宮崎大学医学部附属病院
	橋満　升子	宮崎県看護協会

委員会名	氏　名	施設・事業所名
実習指導者講習会検討委員会	○ 小川　淳子	日南看護専門学校
	後藤　美樹	九州保健福祉大学総合医療専門学校
	児島ゆかり	宮崎県立宮崎病院
	津田　智子	宮崎県立看護大学
	橋満　升子	宮崎県看護協会
災害看護地区代表者委員会	○ 壹岐由加利	宮崎・東諸県地区（宮崎市郡医師会病院）
	富山　健司	延岡・西臼杵地区（延岡看護専門学校）
	成合　貴代	日向・東臼杵地区（済生会日向病院）
	橘田　志帆	西都・児湯地区（都農町国民健康保険病院）
	矢方由美子	都城・北諸県地区（都城市郡医師会病院）
	吉松　高志	小林・えびの・西諸県地区（えびの市立病院）
	沖水　利佳	日南・串間地区（宮崎県立日南病院）
まちの保健室地区代表者委員会	○ 松田のり子	個人会員
	髙妻　真子	保健師職能理事（宮崎県中央保健所）
	田中　優子	助産師職能理事（古賀総合病院）
	新名麻理子	看護師職能Ⅰ理事（宮崎市郡医師会病院）
	岩村　優子	看護師職能Ⅱ理事（訪問看護ｽﾃｰｼｮﾝ湯癒亭）
	加藤　千鶴	延岡・西臼杵地区（延岡ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ病院）
	杉山　賞子	日向・東臼杵地区（千代田病院）
	髙橋久美子	西都・児湯地区（個人会員）
	小牟田佐知子	宮崎・東諸県地区（宮崎生協病院）
	今村三千代	都城・北諸県地区（個人会員）
	酒匂みどり	小林・えびの・西諸県地区（槇内視鏡内科医院）
	田中　澄子	日南・串間地区（個人会員）
	江川千鶴子	宮崎県看護協会
専門・認定看護師委員会	○ 三輪真砂子	宮崎大学医学部附属病院
	鵜野　和代	宮崎市郡医師会病院
	米丸　順子	個人会員
	濱地　浩子	国立病院機構宮崎東病院
	中内　健太	宮崎県立延岡病院
	山下　嗣美	宮崎県立日南病院

令和4年度 公益社団法人日本看護協会 代議員及び予備代議員

代議員

番号	氏　名	職能別	役職等
1	久保　敦子	助産師	副会長
2	江川千鶴子	保健師	常務理事
3	髙妻　真子	保健師	保健師職能理事
4	田中　優子	助産師	助産師職能理事
5	新名麻理子	看護師	看護師職能Ⅰ理事
6	岩村　優子	看護師	看護師職能Ⅱ理事
7	﨑村真由美	准看護師	准看護師理事
8	清水小百合	看護師	日南・串間地区理事
9	福山　洋子	看護師	延岡・西臼杵地区理事

予備代議員

番号	氏　名	職能別	役職等
予備 1	日髙美加子	保健師	副会長
予備 2	橋満　升子	看護師	常務理事
予備 3	後藤　由佳	保健師	保健師職能委員
予備 4	井上　智美	助産師	助産師職能委員
予備 5	池田　知佳	助産師	助産師職能委員
予備 6	小林　利佳	看護師	看護師職能委員（Ⅰ領域）
予備 7	瀬戸口麻美	看護師	看護師職能委員（Ⅱ領域）
予備 8	横田　園美	准看護師	看護師職能委員（Ⅰ領域）
予備 9	藤本　雪美	看護師	都城・北諸県地区理事
予備 10	関原　昭吾	看護師	西都・児湯地区理事

みやざきナースToday2021「看護の日・看護週間」の取り組みのご紹介

みやざきナースToday2021の5月16日のイベントは、新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため開催中止となりましたが、5月12日の「看護の日」に関連して、宮崎県看護協会の活動紹介等の展示のみ、5月10日～17日まで、宮交シティ3階フロアにて実施いたしました。来年こそは、開催できることを願って！！

● 展示内容 ●

・「看護の日」の由来、宮崎県看護協会の活動紹介など
・日本看護協会、宮崎県看護協会の「新型コロナウイルス感染症」への対応
・災害支援ナースの活動紹介（写真パネルの展示）
・看護の出前講座、ふれあい看護体験の紹介、まちの保健室の活動紹介

● 先輩看護職から後輩たちへのエール紹介 ●

本来５月 16 日のイベント時に予定しておりました「看護のリレートーク」時の４名の講師の講演内容をご紹介いたします。

保健師　保健師の仕事の魅力とやりがいについて

宮崎県福祉保健部　こども家庭課　主査（保健師）　**薗田　成央**

「この男の子、もう少し家庭で助けがあれば、こんな頻回に病院に来なくて良いのに」

この思いから、私は保健師を目指しました。

大学時代、当時、看護師を目指していた私は、総合病院の小児科外来で診察介助などのアルバイトをしていました。そこには、1型糖尿病など自分でお薬を飲んだり注射を射ったりして状態を維持する必要がある子どもたちが多く通院しており、その中に、頻回にコントロール不良で受診する子どもがいました。この時、このような家庭に直接的・間接的に関わり、健康と命を守る仕事として保健師が地域にいることを知りました。

保健師は、妊娠、出産、子育て支援、思春期のケア、職場でのメンタルヘルス、介護現場、時には災害支援など、人が生まれてから死ぬまでのあらゆる機会に、保健、福祉、医療分野などの幅広い知識と専門性をもって住民に寄り添う仕事です。「授乳がうまくできるようになり、子どもの体重が増えました。」「話を聞いてもらって、気持ちが楽になり、子どもに優しくできるようになりました。」「相談したお陰で治療につながり、また家で生活することができるようになりました。」と感謝の言葉をいただき、この保健師である自分の存在そのものに価値を感じてもらえた時こそが、保健師として働いて良かったと思える瞬間です。

現在、本県も新型コロナウイルス感染症の流行が続いております。このような状況においても、保健師は、1人でも新たな感染者を減らすための疫学調査、患者支援など、必死の思いで日々働いております。この保健師という仕事に誇りと責任感をもって対応している尊敬できる先輩や頼もしい後輩たちと一緒に働けることも、保健師の仕事の魅力の1つです。県民の健康増進のために働く保健師の仕事に、1人でも多くの方が興味を持っていただき、ひいては一緒に汗をかく仲間として働く保健師が出てきてくれることを心より願っております。

助産師　あなたのそばに助産師がいます

きら助産院　助産師　**白池　晶**

あなたは助産師に出会ったことがありますか？古くは「産婆」と呼ばれた歴史ある職業で、現在は妊娠・出産・育児のサポートやケア、助言を行うのはもちろん、女性の一生を通して様々な問題に関わり、改善や健康増進への支援をしていく、とてもやりがいのある職業です。

また、女性のためだけではなく、家族や地域で生活する人々に対しても、健康に関する相談や教育をしており、性に関する問題の専門家でもあります。あなたの記憶には残っていないかもしれませんが、どなたも人生の中で一度は出会っているはず。活躍の場は、病院やクリニックだけではなく、助産院を開業したり、保健所・都道府県や市町村役場等の行政の仕事、学校などの教育の場と幅広い選択肢があります。

看護師　看護師の魅力とやりがいについて

高千穂町国民健康保険病院　看護師　**興梠裕樹**

現在、私は看護師20年目で、高千穂町にある総合病院で働いています。今回は、看護師になろうと思ったきっかけ、看護師の魅力とやりがい、看護師としてのスキルアップ、以上の3点についてお話します。

私が看護師になろうと思ったのは、母の影響が大きいです。私は、看護師として働く母の姿を小さい頃から見て育ちました。楽しそうに看護師として働く姿が印象的でした。また、仕事以外でも、偶然すれ違った患者さんから「この前はありがとうね」「本当にお世話になりました」と声を掛けられる機会が多くありました。嬉しそうに話す母の姿を見て、『僕も母のように患者さんから感謝されるような看護師になりたい』という思いが強くなり、中学3年のときに看護師になることを決意しました。

看護師の魅力とやりがいは、自分の行った看護が患者さんのためになった時、良い結果に繋がった時に確かな手応えを感じることができ、大きなやりがいを実感できるということです。患者さんやそのご家族と接しながら働くことができるため、患者さん達と共に悩み、考え、お互い支え合うことができます。患者さんとの対話や交流が人間的な成長に繋がり、人と医療への貢献が実感できる機会が多い点も、看護師の魅力だと思います。

看護師のスキルアップは、看護師としての専門性を上げるためにとても重要です。看護師にはさまざまな資格や検定、研修などがあります。宮崎県看護協会では、多くの研修を企画、運営してくださり、私たちに学ぶ機会を与えてくれます。学んだことは患者さんの病態と直結し、看護の役に立ちますので、やりがいに繋がります。

私はスキルアップのために、感染管理認定看護師と特定看護師（特定行為研修を修了した看護師）の資格を取得しました。現在は、この資格を活かすことのできる部署で働いています。興味のある分野の専門性を高めることで、仕事へのやりがいを感じています。看護師は大変な仕事ですが、一人でも多くの患者さんが笑顔で過ごすことができるよう、私なりの看護を提供したいと思います。

看護師　私は地域で働く訪問看護師です！

訪問看護ステーションなでしこ3号館　管理者（看護師）

中村久美

私は地域で働く訪問看護師です。自宅で療養中の病気や障害がある方、また、医療機器を常に必要とする方、入院ではなく最期まで命あるかぎり自宅で過ごしたいという方のご依頼を受けて訪問しています。

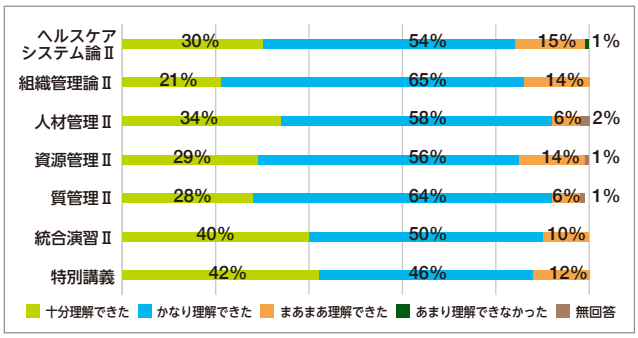
私も、そして、皆さんも、必ず皆命が終わる時がきます。残念ながら、自分で自分の治療や療養先を選べない、急な最期を迎える方もいます。反面、自分の老いや自分の病気に対して、自分で自分の治療や療養に対して意思決定をして療養していく場合もあります。その時、訪問看護師の本領発揮です。辛い症状は和らぐ様にコントロールして、最期まで本人が「大切にしたいこと」「譲れないもの」を中心に知恵を絞りできる様に工夫して対応しています。大切な仕事をさせて頂いていることを実感する日々です。今回この企画で実際の関わりを紹介してお伝えが出来れば幸いです。

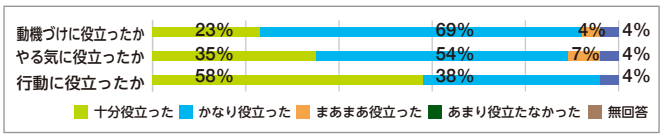
認定看護管理者教育課程セカンドレベル研修を終えて

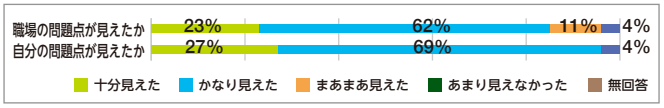
認定看護管理者教育専任教員　中島由紀子

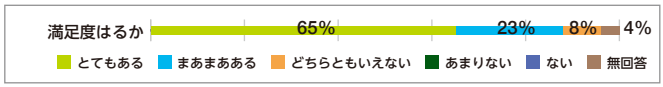
令和2年度のセカンドレベル研修は、受講者26名、日程10月9日～3月19日で開催しました。コロナウィルス感染拡大のため1月29日閉講予定が延期、県外講師はオンライン授業、グループワークや研修生同士の交流の制約などがありました。しかし、受講者は双方向授業やグループワークでの意見交換・質疑応答に活発に取り組み、研修で多くのことを学び、刺激を受けたようです。受講者アンケートでは、講義の理解度や満足度は高く、看護管理者としての視野が広がり、約9割の人が同僚等にも受講を勧めたいと答えていました。令和3年度は10月1日から開催予定です。多くの方のご参加をお待ちしています。

【受講者アンケートより】









地区研修報告 ～延岡・西臼杵地区～

延岡・西臼杵地区理事 福山 洋子

令和3年5月29日（土）9:40～12:00、延岡総合文化センター小ホールにおいて、延岡・西臼杵災害時看護支援委員会により、「コロナ禍における大規模災害への備え」をテーマとして災害看護シンポジウムが開催されました。

座長に門田広美氏(延岡看護専門学校副校長)、講師に山崎真梨子氏（延岡市企画部経営政策課）、鵜野和代氏（宮崎市郡医師会病院救命救急センター副看護師長）、長嶺育弘氏（宮崎県立延岡病院救命救急センター長）をお迎えし、「災害時の情報取集と情報発信」「コロナ禍での病院移転の経験から考える大規模災害時の避難計画と受援体制」「災害時における災害拠病院の役割と県北地区の課題」についてご講演いただきました。

参加者数は75名、病院や訪問看護ステーション、行政関係など非会員の参加も10名あり、関心の高さがうかがえました。研修アンケートの回収率は97%、興味のあるテーマであり学びが深まったとの回答でした。コロナ禍における災害対策は喫緊の課題であり、ニーズに合った研修でした。

参加者より、「自施設でやるべき事と対策が分かった」「活躍している看護師の話を聞き自分たちも頑張らなくてはいけない」「延岡市の南海トラフ、五ヶ瀬川水系の大洪水を想定した避難訓練や情報の一括集中管理・発信システム構築の必要を感じた。人と人の繋がりをいかにつくるかが課題」などの声がありました。また、今後の研修希望に関しては、『災害時のメンタル支援や感染対策、多職種による防災指導』などが上位にあがり、研修課題も得ることができました。講師からは、「感染状況により会場へ出向けない場合でも、Webならば参加可能で講義しやすい」という意見があり、今後の地区研修のあり方を検討する必要性を再認識しました。行政や議員の方の研修参加を受け入れたことも、地域防災システムの意見交換の機会となり、連携強化につながると期待しています。途中、会場発言の一部が聞き取り辛いことがありましたが、全体を通しスムーズに運営できました。

今回の研修を通して、大規模災害発生時に、患者や自分自身を守るための具体的方法と、支援を受けるための情報発信や移送方法等について理解を深めることができました。『大規模災害発生時に患者・傷病者と医療スタッフ自身を守るための対応と授援方法について学ぶ』『災害に備え、延岡地区の看護職および関係者による連携を深める』という研修目的も達成できたと思われます。

最後に、昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、地区研修を行うことができませんでした。今回も第4波の影響で開催が危ぶまれましたが、看護協会事業部と連携して、当地区初のWeb併用形式で開催することができました。市の規定の会場収容率50%のところ、25%に収まり、感染対策も十分とることができました。担当委員をはじめ、開催準備に尽力された関係者の方々に深く感謝いたします。ありがとうございました。

在宅支援室よりお知らせ～♪

令和3年度訪問看護推進事業「看護人材連携支援事業」で研修会や交流会を開催します。

訪問看護師が、在宅療養領域に必要な看護の知識・技術の習得ができ、在宅療養者及びその家族に対し、質の高い看護を提供できる。医療機関に就業する看護師と訪問看護師がお互いの役割や地域包括ケアシステム等を理解し、在宅療養者が適切に支援等を受けられる体制作りを推進する、等を目的に、以下の内容の研修等を計画しています。詳細は、当協会ホームページに掲載いたします。

●訪問看護ステーションの専門看護師・認定看護師派遣支援

訪問看護ステーションに所属している専門看護師・認定看護師が、派遣依頼のあったステーションに出向き、学習会や同行訪問、事例検討等、質の高い看護技術が提供できるよう支援しています。また、それぞれの高いレベルの専門的知識と技術を活かし、専門分野の講師として、今年度も2会場で研修会を開催します。Webでの開催もいたしますので、遠距離やコロナ禍において受講が困難な場合にご活用ください。

1回目 令和3年7月3日(土) 14:00～15:30　※Web配信で実施しました。
内容：講義「新型コロナウイルス感染症に罹患した在宅療養者に対する訪問看護の実践」
※講師：感染管理認定看護師　※応募者数29施設、51名、参加者数23施設、43名でした。

2回目 令和3年9月4日(土)　※時間・会場未定　決定次第HP等でお知らせします。
内　容：訪問看護管理や精神科に関連した研修会及び相談会
※講師：がん看護専門看護師・感染管理認定看護師・訪問看護認定看護師・精神科看護認定看護師

●医療機関と訪問看護ステーションの看護職の人材交流研修

地域において医療機関と訪問看護ステーションの連携体制の推進を支援するために、研修や交流会を企画しています。県西地区、県北地区、県央地区等のそれぞれの地区の会場で行いますので、是非顔のみえるつながりを強化し、スムーズな連携を目指しましょう。

今年度は、多職種の方々の参加で、シンポジウム等の形式で開催を予定しています。

県西地区 令和3年 7月 31日(土) 14:00～16:00　会場 都城市 国立病院機構都城医療センター
県北地区 令和3年 8月 21日(土) 13:30～16:00　会場 延岡市 エンシティホテル延岡
県央地区 令和3年11月 18日(木) 14:00～16:00　会場 宮崎市 宮崎県看護等研修センター

●訪問看護管理者交流会

県内訪問看護ステーションの管理者が集い、管理上の問題や多職種と協働する上での課題等について意見交換や情報交換等で交流を深め、今後の方向性や実践的な取り組みの見える化と対応策について共に考える場となります。年2回開催します。

1回目 令和3年 9月18日(土) 13:00～16:30　会場 都城市 ウエルネス交流プラザ
2回目 令和3年10月 9日(土) 13:00～16:30　会場 宮崎市 宮崎県看護等研修センター

2021年度「訪問看護eラーニング」～訪問看護の基礎講座～のご案内

訪問看護は、住み慣れた地域で在宅医療を維持するために、重要な役割を期待されています。

「訪問看護の基礎を学びたい」「訪問看護の経験がない」「訪問看護をやってみたい」というあなた!

パソコンがあれば、「いつでも」「どこでも」学習できる「訪問看護e-ラーニング」で、キャリアアップしませんか。

申込期間	令和3年12月2日(木)まで
受講料	16,000円
受講方法	インターネットを利用した通信教育

今すぐクリック! 訪問看護eラーニング 検索

※詳細は、日本訪問看護財団「訪問看護eラーニング」専用HP (https://www.jvnf.or.jp/e-learning/) をご参照ください。

第21回 もう一度押さえておきたい 看護のコツ　～専門看護師・認定看護師からみなさまへ～

「生きていく上で必要なもの」～呼吸数について～

救急看護認定看護師 黒木晋作（JCHO宮崎江南病院）

人が生きていく上で必要なものとは?

生きるためには頭で考え、体を動かさなかなければなりません。そのために必要なものは**「酸素」**です。

「ワッサーマンの歯車」というものがあります。3つの歯車があり、右から肺、心臓、骨格筋（末梢の組織）を表します。酸素を大気中から取り込み、血液に入り、動脈血として心臓のポンプ作用で全身に送られます。組織に到達した動脈血は組織（ミトコンドリア）に酸素を渡し、ATP（エネルギー源）を産出した際に出た代謝物として二酸化炭素を受け取り、静脈血として、肺胞から呼気として二酸化炭素を体外に排出します（換気）。その中でも今回は肺（呼吸）について記載したいと思います。

呼吸は、人体の中で唯一自分の意思でコントロールできる生理機能で、呼吸を早くしたり、遅くしたり、止めてみたり、様々な事が出来ます。例えば、アシドーシス（酸性）になったとします。調節するためには、尿でH+（酸）を排泄するか、HCO_3^-（塩基）を再吸収するかですが、呼吸であればCO_2（酸）を外に出す事で体内の平衡を保とうとします。排尿を増やすためには時間がかかりますが、呼吸ならば、速やかに呼吸回数を増やして、CO_2を排出することが出来ます。

“呼吸は人が生きていく上で必要な酸素を取り込む為にも必要であり、体内のバランスを保つためにも重要な機能の一つです。”

敗血症の早期認知の為のスケールである「q SOFA」にも“呼吸回数22回/分以上”の記載があり、National Early Warning Score（NEWS）にも呼吸回数の表記がされています。余談ですが、大ヒットとなった「鬼滅の刃」でも呼吸の重要性が描写されています。

この機会に呼吸の重要性、特に呼吸回数の重要性を再認識していただけたらと思います。

■専門看護師・認定看護師の皆様へ

宮崎県看護協会HPに、CNS・CN専用ページ（掲示板）を開設しています。情報発信、情報収集に是非ご活用ください。

利用申請は、宮崎県看護協会公式ホームページ ▶ 看護職の方へ ▶ CNS・CN専用ページ からどうぞ！

寄附のご報告

本協会の新型コロナウイルス感染症に関する活動への応援のご寄付をいただきました。
皆様のご厚志に心よりお礼申し上げます。

令和3年5月14日　贈呈式

学校法人宮崎総合学院 理事長　川越 宏樹様、
小林看護医療専門学校 校長　志戸本 宗徳様より、
新型コロナウイルス感染症支援金としてご寄付をいただきました。

令和3年7月8日　贈呈式

宮崎県読売会 会長　宮城 徹様より、
新型コロナウイルス感染症に対応している看護職のみなさまに役立ててほしいと支援のためのご寄付をいただきました。

新型コロナウイルス感染症
宿泊療養施設の看護師業務に関する事業

宮崎県看護協会は4月から県委託事業として、軽症者宿泊療養施設の業務に従事する看護職員の人材確保及び調整業務等を担っています。看護師の人材確保については、宮崎県ナースセンターと連携をとりながら、ホームページや新聞に募集案内を掲載しました。その結果、病院を退職した方や就職先を探している方から多くの応募があり、4月から6月にかけて43名採用し、延岡市、宮崎市、都城市の施設4か所に勤務しています。施設の中では、看護師は保健医療班として入所者の健康観察や急変時の対応、動員職員への感染防護等の支援を行っています。勤務体制は日勤・夜勤の二交代制で勤務しています。今回、軽症者宿泊療養施設で働いている看護師3名の方に、応募したきっかけや仕事の内容について聞きましたので、ご紹介します。

伊東　美佳さん（ビジネスホテルフクハラ勤務）

私は延岡の夕刊デイリー新聞の「宿泊療養施設看護師不足」という記事を目にし、地元延岡のために看護師として役に立ちたいと思い応募しました。仕事内容としては、電話での入所者の健康観察や急変時の対応、施設の動員職員への感染防護指導などがあります。病院の仕事と違うこともあり、不安や戸惑うこともありますが、医師会の先生や看護師、他職種と相談や協力をしながら仕事することが改めて大切だと気付きました。これからも、入所者が安心して療養できるよう看護師としての役割を果たしていきたいです。

佐伯　哲哉さん（ひまわり荘勤務）

現在、4月より宮崎市のコロナウイルス軽症者施設に、保健医療班の看護師として従事しています。3月で県病院を退職後、看護師の仕事をサポートする会社を立ち上げるため準備していたところ、施設スタッフの看護師不足の情報があり、会社設立の傍ら増加していたコロナウイルス感染患者の対応に、看護師や救急看護、DMATとしてのスキルが生かせるのではないかと考え参加しました。現在、施設では入所者の健康観察を朝夕実施し、症状増悪時には、保健所と連携し速やかに入院加療が可能となるよう情報の伝達等を実施しています。また、他のスタッフが感染することなく業務が遂行できるように感染管理の指導や援助を行っています。

滿安　京美さん（アパホテル宮崎都城駅前勤務）

私は今年の3月まで病院勤務をしていました。退職後看護協会のe-ナースセンターにアクセスしたところ、担当者の方から連絡をいただき、4月から主に都城で勤務しています。

病院勤務時は新型コロナ感染症の患者さんを看たことはありませんでしたが、テレビ等では連日コロナ感染症に関わる医療従事者や保健所などの奮闘ぶりが放映されており、すでにかなり疲弊されている様子でした。私自身は第一線で活躍する自信はないですが、看護師の資格を活かして少しでも貢献することが出来ればと思い勤務させてもらうことになりました。実際の業務は電話での健康観察になります。目視することが出来ないので、息づかいやいかに遠慮なく患者さんの要望を引き出せるかが大事ではないかと思います。また、行政の方々と業務しているため、お互い協力し合うことが必要になってきます。病院等と変わらずチームワークが大事だと思います。また、行政の方々はワクチン接種が未だの方々がほとんどですので、感染しないよう援助することも私達看護師の大事な役割です。このような業務は初めてですが、良い経験をさせてもらっていると思います。今後も少しでも貢献できるよう頑張っていきたいと思います。

宮崎県では、4月から5月にかけて感染者が増加し（第4波）、陽性者が軽症者宿泊療養施設にも多数入所しました。その際は、看護師がまだ十分に確保できず、県の保健師や看護協会の職員、宮崎生協病院や県立こども療育センター、そして都城市郡医師会病院からも応援をいただきました。この場を借りて改めてお礼申し上げます。

全国的にもワクチン接種が進んでおりますが、完全に感染症を防げるものではありませんので、これまで通り基本的な感染対策を引き続きお願いいたします。

NURSE CENTER LETTER Vol.64

センター長コラム

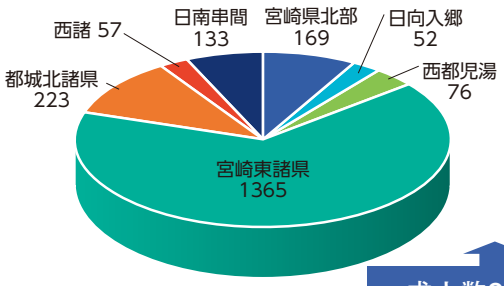
小城 一代

暑中お見舞い申し上げます。
平素よりナースセンター事業へのご支援・ご尽力をいただき、感謝申し上げます。
ナースセンターでは、現在（6月末）、ナースバンク事業、復職支援と併せて、新型コロナウイルスワクチン接種研修を行っており、100名近くの受講がありました。
7月には「看護の心」普及事業で、ふれあい看護体験（7月27日～）や、看護進路相談会（7月22日：宮崎市民プラザ）が開催予定となっており、未来の看護職育成の一歩になって欲しいと思います。
新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、多くの場所で活躍する看護職に注目が集まり、看護職不足や過酷な現場の状況等も明らかとなりました。それに伴い、潜在看護職の方からの問い合わせも増えており、復職に繋がる方も増えています。
ナースセンターでは、就労前見学への同行やハローワークでの出前就労相談なども行っており、今後も関係機関の皆様のご支援をいただきながら、1人でも多くの潜在看護職の方が就労に繋がるように今後も関係機関の皆様のご支援をいただき、人のつながりを作っていけたらと思います。
求職中の看護職はもちろん、看護学生の皆さん、現在看護職として働いている方のさまざまな相談も受けています。どうぞ気軽にナースセンターをご利用ください。
新型コロナウイルス感染症の新規発生数は少なくなったものの、変異株による感染を含め、まだまだ油断できない状況と思われます。ワクチン接種も進んではおりますが、不安は尽きません。皆様に置かれましては、お身体に留意されてお過ごしください。

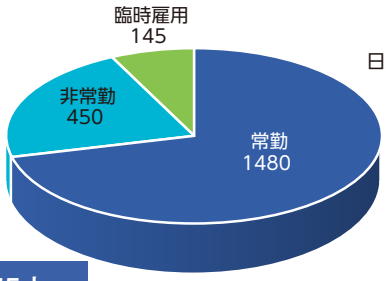
ナースセンター実績

求人・求職実績（看護職の無料職業紹介所）（令和2年４月～令和3年３月） 求人倍率 1.95倍

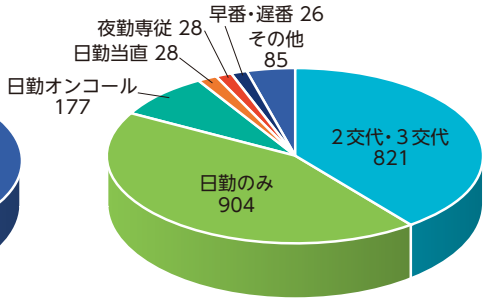
地域別求人数



雇用形態別求人数



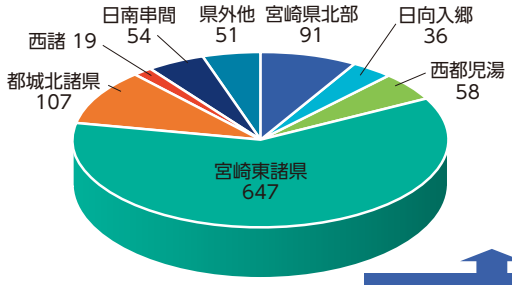
勤務形態別求人数



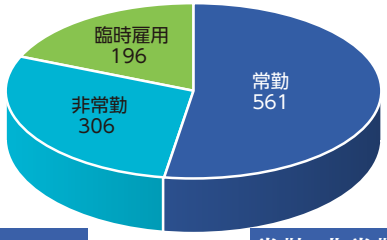
求人数2075人

求人数は、昨年度と比較して（令和元年度1870人）11ポイント増えている。理由は、通常の求人だけでなく新卒採用、次年度採用の求人登録が増えたことやハローワーク求人情報オンラインシステムを活用することで求人施設のアプローチを行いナースセンターへの求人登録につながった。新型コロナウイルス感染症に関する求人は、軽症者宿泊療養施設と保健所等の相談窓口業務の2件のみだった。

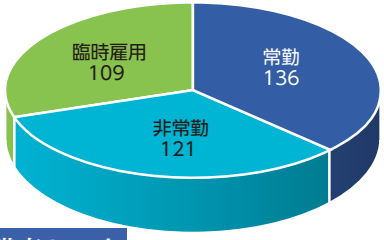
地域別求職者数



雇用形態別希望



就職者の雇用形態別就職数



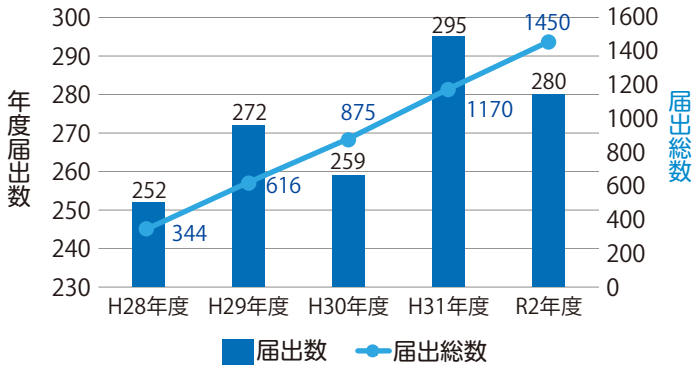
求人数1063人

常勤・非常勤の就職者257人（救護・健診109人除く）

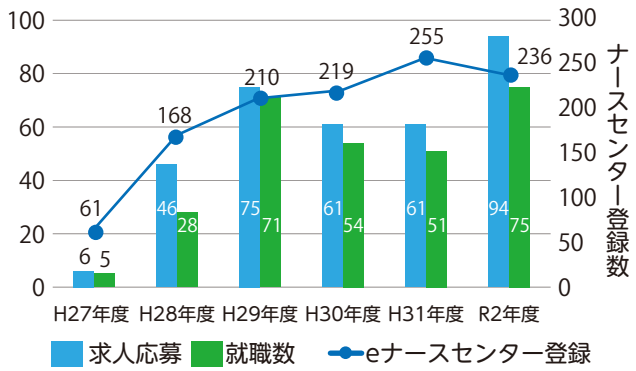
求職数は、昨年度と比較して（令和元年度989人）7ポイント増えている。理由は新型コロナウイルス感染症拡大によって、メディア等で看護を必要としている現場の声が届き、潜在看護職の登録が増えたものと考える。就職者は、366人（令和元年度404人）9ポイント減っている。その原因はイベントの中止によって臨時雇用の就職者が減ったことによるものである。しかし、常勤・非常勤の就職者数では257人（令和元年度239人）9ポイント増えている。

看護師等の届出実績(平成27年10月～令和3年３月)　登録者数 1450人

年度別届出者の推移



年度別ナースセンター登録者の応募と就職



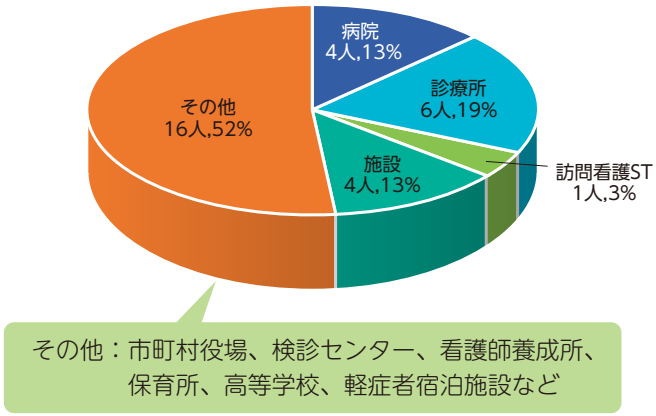
令和２年度は年度末にかけて届出登録者が増えていた。その背景には新型コロナウイルスワクチン接種業務に係る看護師の募集等が公表されたことがあると推察する。登録者が届出をきっかけに再就業に結び付けられるように働きかけていきたい。

復職支援実績【受講者延75人】実人数57人⇒未就業52人⇒46人*⇒再就職31人(就業率67%)

(＊ｎ＝46人：未就業52人中の６人に連絡がつかなかったため)

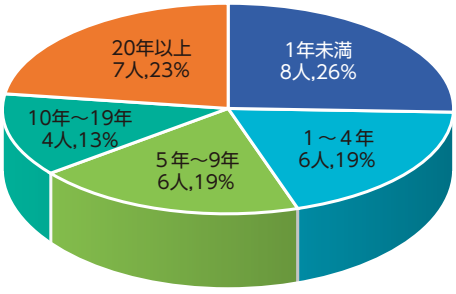
研修名	参加人数	未就業	各研修の再就職者数
採血・点滴技術演習コース・復職支援カフェ(4月～３月) 4月、5月、8月、1月、3月は中止	44人	29人	20人
講義・演習コース(6月、9月、12月)	24人	23人	14人
実習コース(11月～12月)	中止	中止	中止
延岡地区トライアル研修	7人	7人	3人
都城地区トライアル研修	中止	中止	中止
延岡地区採血技術演習(ハローワーク延岡３月)	3人	3人	1人
延べ人数	75人		

就業施設別割合(ｎ＝31)



その他：市町村役場、検診センター、看護師養成所、保育所、高等学校、軽症者宿泊施設など

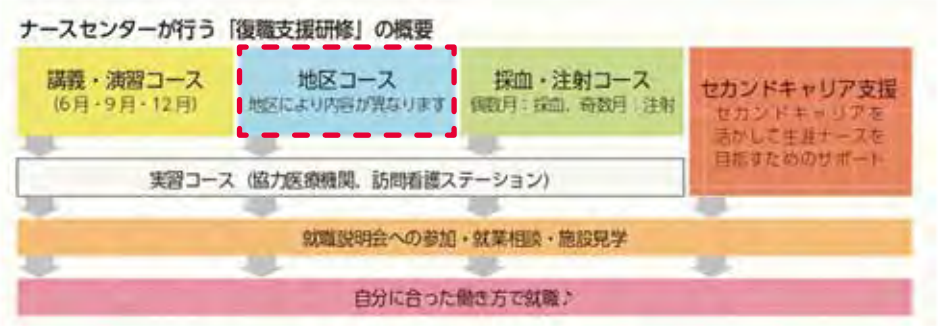
再就業者のブランク(ｎ＝31)



令和２年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い研修を中止することになり受講者数は減った。研修では感染対策を行いながら実施した。再就職者は31人(67%)で例年同様で推移している。復職支援研修は、復職に不安な求職者と求人施設を結び付けられるように研修内容を今後も検討していきたい。

ナースセンターは“看護職としてもう一度働きたい”アナタを全力で応援します！

宮崎県ナースセンターは、仕事をしていない潜在看護職のみなさんの**働きたい気持ち**を全力でバックアップ！各種「復職支援研修」の中から「延岡トライアル研修」（地区コース）をご紹介します。

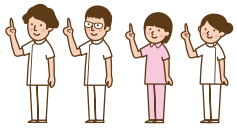


令和3年7月1日、2日に「延岡トライアル研修」（地区コース）が開催され、32歳から70歳（平均年齢41歳）の11人の看護職の方が参加しました。なかには離職期間20年の方もいらっしゃいました。

「延岡トライアル」募集広告

研修の様子

はじめは、緊張の強かった皆さんも、久しぶりの”看護体験”を楽しんでいるようでした



参加者の感想

★同じ志を持った仲間との交流に有意義な時間を持つことができました。私も頑張ろうと思えました。

★就職に自信がなかったのですが、研修に参加して前向きな気持ちになれました。

復職ストーリー～ブランクを経て復職したわたしの体験記～

一度退職してから、いざ復職しよう！と思っても、ブランクがあると誰でも不安に思うもの。ここでは、2019年の「延岡トライアル研修」参加をきっかけに復職した田中さん（看護師）の体験談をご紹介します。復職を考えている看護職の皆さんへ、田中さんからエールを送ります！

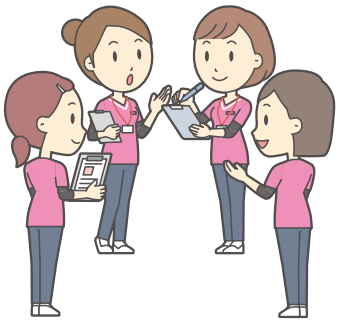
① 田中さんの看護経験と離職中（看護職）のことを教えて下さい

看護師免許を取得して35年になります。看護師免許取得後10年、小児科・NICU・産科を経験しました。夫の転勤で病院を退職し、転勤先に引っ越してきました。それからは、4人の子供（下の子は双子です）の子育て、子供の入院、父母の入院、また夫の転勤（この時は単身赴任）毎日、慌ただしくあっという間に月日が流れていました。

② 「延岡トライアル研修」参加のきっかけを教えて下さい

下の双子が中学生になり、病弱だった息子も体力がつき、高齢の母の体調が安定したこと、経済的（教育費）にも大変になったことで、働くことを考えていました。看護師として働くには、ブランクがありすぎる、年齢も55歳ということもあり、とても復職するのは無理と思い、看護以外の仕事を探しました。

ただ、残りの人生、働く時間もそんなにありません。看護師としてもう一度働きたいという気持ちもありました。その時、ブランクのある私に声をかけていただいた病院の方にトライアル研修を紹介してもらいました。研修に参加するきっかけ、復職するきっかけを作っていただいたと思います。



〒882-0846
延岡市中島町4丁目314-3
TEL:0982-34-7575
FAX:0982-34-7579
URL:http://rouken-atago.jp/

常勤
（日勤＋当直）
正職員募集中!

詳しくは、
宮崎県ナースセンターまで

3 （研修に参加して）どんなところが役に立ちましたか？感想をお聞かせください

研修に参加して、久しぶりに学生気分を味わいました。採血、点滴など基本的な看護技術体験では、現在使用されている医療材料を用いて実習ができ勘を取り戻すところまではできませんが、雰囲気・感覚に触れるころができました。そして、3日間でしたが、25年ぶりに臨床の現場で実習できたことで、またナースとして働きたいと思うようになりました。

4 就職活動で苦労されたことや頑張ったことを教えて下さい。

年齢、ブランクがありすぎることで、ハローワークで調べてもなかなか希望するところ（病院、医院）がなく、また違う職種で働こうかと迷っていました。就職活動で苦労するというより、一歩踏み出そうとするとまた不安になったり、復職をためらってしまい…そんな日々を送っていました。

5 就職先を決めた理由は何でしたか？

トライアル研修でお世話になった看護協会の方から電話で「一度見学に行ってみては？」というお話がありました。その日は、ハローワークに行く予定で、あまりのタイミングに驚きました。老健では今まで働いたことはなく、高齢者の看護も、看護実習で経験したほどで、何もかも初めての事ですが、老健の方から、“徐々にできることを増やしていけばいい”と話していただいて、働こうと決めました。

医療法人社団光学堂 のべおか老健あたご
田中 美知子さん

小児科・NICU・産科を10年経験の後、夫の転勤を機に退職。25年後に、復職支援研修を経て2020年12月に入職。

6 今のお仕事のこと、一日の仕事の流れを教えて下さい

申し送りの後に処置に回ります。他、胃瘻造設されている利用者の方の栄養の準備、注入、片付け等をしています。あと、電子カルテの入力です。パート5時間なので、あっという間に時間が過ぎます。

7 これからお仕事を探される看護職の方に一言お願いします

ブランクがあると看護師として現場に復職するのは相当な不安がありました。研修に参加するときも、25年ブランクがある私が研修についていけるか…面接時、採用が決まった時も、常に不安がついてきました。復職を考えている方も不安を抱えていることだと思います。今のライフスタイルに合わせて自分に合った就職先を見つけるためにも、研修でお世話になったナースセンターの方々に相談し、情報提供、アドバイスを受けるといいと思います。私も復職を支援していただき、そして私を受け入れていただいた施設の皆さまに感謝しています！

今はまだ、目の前の仕事をこなすのが精一杯ですが、スタッフの皆さまに助けてもらいながら、日々仕事をしています。

私は子供たちに「やらない後悔よりもやって後悔したほうが遥かにいい」と言っています（私の座右の銘です）。この言葉を何度も自分に言い聞かせて頑張っています。

一歩踏み出すのは怖いですが、何もしなければ何も変わりません！まず一歩踏み出しませんか！（私もまだまだですか…）

復職を目指す看護職の皆さんの応援団！

復職を目指す皆さんの応援団は、ナースセンターだけではありません。研修においては、現役の看護職や看護学校の教員が講師となって、皆さんの復職をサポートしています。延岡トライアル研修の講師「延岡看護専門学校」の甲斐章子先生から、皆さんにメッセージです！

県北地区ではもともと看護職が不足しており、少しでも現場のためになればと思い、研修を続けてきました。宮崎県ナースセンターと共同開催するようになり、潜在看護職のみなさんとの多くの出会いを得たことに感謝しています。

今年は、コロナ禍での医療現場の疲弊状況をマスコミ報道で知って研修に参加して下さった方が多数いらっしゃいました。私共も、バイタルサイン観察技術と静脈採血技術に加え、コロナワクチン接種技術の研修を導入しました。研修に参加した皆さんが、基礎知識を振り返りながら真剣に実技演習に臨み、各自の持っている技術を取り戻しておられる姿を見て、指導した者として大変嬉しい思いです。研修生同士の交流も生まれ、同じ悩みを共有し、励まし合っている姿も見られました。訪問看護ステーションの講義では、看護の場が臨床から地域へ広がっていることを知り、興味を持ったと聞きました。研修を受けても、復職へのさまざまな不安を感じると思いますが、実務研修等に挑戦し、皆さんの志が職場復帰へ繋がることを心より願っています。

令和３年度　理事会報告

	第１回	第２回	第３回
月日	令和3年4月17日(土) 10:00~11:15	令和3年5月21日(金) 10:00~10:45	令和3年6月19日(土) 11:50~12:30
会員数	8,158名　保健師:205名　助産師:233名 看護師:7,241名　准看護師:479名	8,322名　保健師:210名　助産師:236名 看護師:7,382名　准看護師:494名	8,367名　保健師:216名　助産師:235名 看護師:7,394名　准看護師:522名
協議事項	協議1．基本方針:今回はなし 協議2．事業推進に関する事項 2−1　事業報告(令和3年1月~3月分)(案):承認 2−2　第1回常任委員会・特別委員会合同委員長会議について:承認 協議3．管理的事項 就業規則の改正について:承認 協議4．人事関係:今回はなし 協議5．その他:今回はなし	協議1．基本方針: 今回はなし 協議2．事業推進に関する事項 常任委員会(教育委員会) 委員の辞退に伴う後任の選定について: 承認 協議3．管理的事項 3−1　令和2年度決算報告(案) について: 承認 3−2　令和2年度監査報告(案) について: 承認 3−3　「公益社団法人宮崎県看護協会 役員等の報酬及び費用に関する規則」及び「事務局職員給与規程」の改正について(案) : 承認 3−4　地区研修会受講費について 協議4．人事関係: 今回はなし 協議5．その他: 今回はなし	第一号議案　会長（代表理事)、副会長及び常務理事の選定について：承認 第二号議案　会長代行の優先順位について：承認
報告事項	1）令和３年度職能委員・常任委員等について 2）令和３年度日本看護協会代議員及び予備代議員研修会について 3）宿泊療養施設の看護師業務等受託について 4）寄附金について	1）日本看護協会理事会報告 2）看護の日知事表彰受賞について 3）特別委員会（専門・認定看護師委員）について 4）寄附金について	なし

編集後記

今回のLet‘sTake a breakは「これで夏を乗り切ります」というテーマにしてみました。暑い日が続いていますが皆さんはどのように過ごされていますか？ぜひ参考にしてみてください。今年は1964年大会以来、57年ぶりに東京でオリンピックが開催となり記憶に残る夏になりそうです。

これからも「会報なでしこ」は宮崎県における看護の最新情報を発信していきます。よろしくお願いします。　有近 俊宏

広報出版委員

柳田 大貴（井上病院）　柴立 佑二（宮崎医療センター病院）
梅原 広幸（潤和会記念病院）　田上 亜澄（宮崎善仁会病院）
有近 俊宏（延岡リハビリテーション病院）　仁田 一貴（藤元病院）
矢野喜代美（済生会日向病院）　野中 香織（野尻中央病院）
日高まどか（鶴田病院）　宮田 由美（串間市民病院）

発行

公益社団法人 宮崎県看護協会
TEL 0985(58)0622　FAX 0985(58)2939
発行責任者／中武 郁子
発行／宮崎市学園木花台西2丁目4-6
E-mail：mkango@d2.dion.ne.jp
https://www.m-kango.or.jp